

農林水産省 令和 3 年度
海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業
(東南アジア諸国)

令和 4 年 3 月
株式会社 JTB

目次

1、	東南アジア諸国（タイ、インドネシア）との二国間政策対話及び官民ミッション	1
2、	ベトナムにおける農産物・食品の規格・認証制度の活用促進	2
	（1）分科会（有機認証、GAP、FSM）	2
	（2）日越合同 GAP セミナー	3
	（3）日越合同有機認証セミナー	4
	（4）有機 JAS 認証審査員育成のための研修	5
	（5）日ベトナム合同 監査会社・認証機関向け食品安全マネジメント規格（JFS 規格）セミナー	7
	（6）ASIAGAP 指導員養成のための研修（第1回）	8
	（7）分科会（有機認証、GAP、FSM）	10
	（8）ワーキンググループ	11

1、 東南アジア諸国（タイ、インドネシア）との二国間政策対話及び官民ミッション

タイ及びインドネシア政府と二国間政策対話及び官民ミッションの開催方法、内容について協議の結果、新型コロナウイルスの感染状況等も踏まえ、事業履行期間内の開催は困難であると判断した。

2、 ベトナムにおける農産物・食品の規格・認証制度の活用促進

(1) 分科会（有機認証、GAP、FSM）

日時：令和3年6月24日（木）

10：00～12：00 有機認証分科会

13：15～15：15 GAP 分科会

15：30～16：30 FSM 分科会 （日本時間）

場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発省 会議室（テレビ会議形式）

言語：日本語・越語（逐次通訳）

1. 概要

各分科会において日本側より2021年度の活動方針について説明し、その後参加者により活動内容についての意見交換や、2021年度に実施予定の研修・セミナーの内容についての議論を行った。

FSM分科会では日本側より昨年度実施した「ベトナムのJFS監査会社・認証機関の候補調査」の結果報告も実施した。

【記録写真】 撮影JTB



(2) 日越合同 GAP セミナー

日時：令和3年9月13日（月）15:00～17:30（日本時間）

場所：農林水産省 会議室（テレビ会議形式）

言語：日本語・越語（逐次通訳）

1. 概要

ベトナム国内の ASIAGAP に関心を有する GAP 審査員や指導員等の関係者を対象に、日本側より ASIAGAP の認証機関の要件や、審査員の登録要件等についての講演を行った。その後質疑応答を実施。ベトナム側より約 110 名が参加した。

2. 参集範囲

ベトナム国内の GAP 審査員、指導員等の関係者のうち、ASIAGAP に関心を有する者。具体的には、以下のとおり。

- (1) GAP 認証機関
- (2) GAP 審査員
- (3) GAP 指導員又は普及員（2020 年 2 月、12 月に実施した研修の研修生含む）

3. 議事次第

- (1) 開会（15:00～15:05）（ベトナム農業農村開発省栽培局）
- (2) 日本側講演（15:05～16:25）
ASIAGAP の認証機関の要件（日本 GAP 協会）
ASIAGAP の審査員ロードマップ（日本 GAP 協会）
- (3) 全体質疑応答（16:25～17:25）
- (4) 閉会（17:25～17:30）（農林水産省農産局農業環境対策課）

【記録写真】 撮影 JTB



(3) 日越合同有機認証セミナー

日時：令和3年9月15日（水）10:00~14:40（日本時間）

場所：農林水産省 会議室（テレビ会議形式）

言語：日本語・越語（逐次通訳）

1. 概要

ベトナムにおける有機農業や有機認証に関心を持つ農業従事者や小売業者、輸出業者、政府機関等を対象に、有機 JAS 認証や新たに制定された有機レストラン JAS 等を紹介し、有機認証について理解を深めるとともに、ベトナムにおいて有機認証の活用を促進することを目的として開催。日本側から約 80 名、ベトナム側から約 370 名の合計約 450 名が参加した。開会あいさつにおいて、日本側より、本協力の成果としてベトナムに有機 JAS 登録外国認証機関第 1 号が誕生したこと及びそのことによる効果について紹介を行った。続いて、ベトナム側から有機認証機関の現状や今後の発展性、有機農業規格等についての講演を実施。その後日本側より有機 JAS 認証や、JAS 認証を受けた有機レストランにおける有機食材提供事例や活用の可能性があるベトナム有機食材等についての講演を実施した。

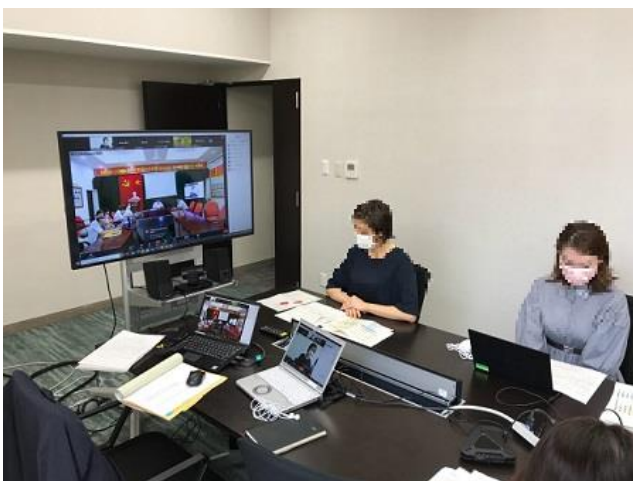
2. 参集範囲

ベトナムにおける有機農業及び有機認証に関心のある農業従事者、小売・流通業者、食品製造業者、輸出業者、政府機関等

3. 議事次第

- (1) 開会 (10:00~10:10)
- (2) ベトナム側講演 (10:10~11:00)
 - ・ベトナムの認証機関の現状と発展（農業農村開発省）(10:10~10:30)
 - ・ベトナムの有機農業規格（TCVN 17041:2017）の現状と発展性（農業農村開発省）(10:30~10:50)(休憩) (10:50~11:00)
- (3) 日本側講演 (11:00~14:00)
 - ・有機 JAS 認証について（独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC））(11:00~12:00)(休憩) (12:00~13:00)
 - ・本物のオーガニック食材を扱うオーガニックレストラン認証について（有限会社リーファース（JAS 登録認証機関））(13:00~14:00)
- (4) 全体質疑応答 (14:00~14:30)
- (5) 閉会 (14:30~14:40)

【記録写真】 撮影 JTB



(4) 有機 JAS 認証審査員育成のための研修

日時：令和3年10月5日（火）～8日（金）
場所：ベトナム農業農村開発省会議室（テレビ会議形式）
言語：日本語・越語（逐次通訳）

1. 概要

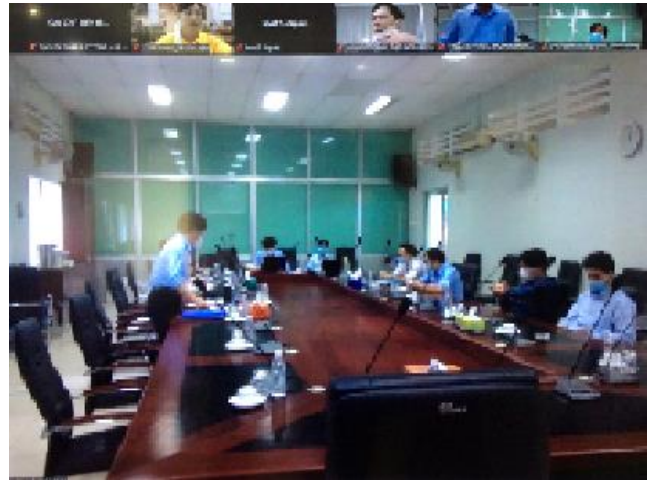
有機 JAS 登録認証機関になることを希望する者、有機 JAS 認証審査員になることを希望する者、有機 JAS 認証取得を考えている者及び政府機関等を対象とし、有機 JAS 認証審査員育成のための研修を4日間にわたって開催した。

講師は（一社）日本オーガニック検査員協会、（特活）Seed to Table、農林水産省が務めた。研修は JAS 法や有機 JAS 制度の概要についての講義から始まり、2日目は認証制度の基本や検査の手法についての講義、3日目にはベトナムの農業事業者と中継をつないで模擬検査を行う実践的な内容も実施された。4日目は二国間での相互認証の仕組みや効果、我が国の有機同等性協議の取り組みについての講義が行われる等多岐にわたる研修内容となった。ベトナム側より約960名（延べ人数）が参加した。

2. 実施プログラム

	日本時間	内容
1日目	10:00～10:30	開会
	10:30～12:05	JAS 法と ISO17065
	12:20～15:20 (途中昼休憩あり)	登録認証機関の準備
	15:35～17:35	質疑応答
2日目	10:00～12:00	認証制度の基本
	12:15～15:45 (途中昼休憩あり)	検査の手法
	16:00～17:00	質疑応答
3日目	10:00～12:00	〔模擬演習〕 開始会議、日本農林規格に関する検査
	12:15～15:45 (途中昼休憩あり)	〔模擬演習〕 認証の技術的基準に関する検査 閉会会議
	16:00～17:30	質疑応答
4日目	11:00～12:00	有機同等性について
	12:00～12:30	意見交換
	12:30～12:45	閉会
	14:05～16:05	個別質疑応答

【記録写真】撮影 JTB



(5) 日ベトナム合同 監査会社・認証機関向け食品安全マネジメント規格 (JFS 規格) セミナー

日時：令和3年11月24日（水）16:00～18:00（日本時間）

場所：農林水産省 会議室（テレビ会議形式）

言語：日本語・越語（逐次通訳）

1. 概要

日本発の食品安全マネジメント規格（JFS 規格）に関心を持つベトナム国内の監査会社、認証機関を対象に、JFS 規格の概要や監査会社・認証機関の登録プロセス等について紹介し、JFS 規格について理解を深めるとともに、ベトナムにおいて JFS 規格の活用を促進することを目的として開催された。JFS 規格プログラムオーナーの（一財）食品安全マネジメント協会が講師を務め、ベトナムの関係者向けに講演を行った。日本、ベトナムから約 45 名が参加。

1. 参集範囲

ベトナムにおける JFS 規格に関心のある監査会社及び認証機関、政府機関 等

2. 議事次第

(1) 開会（16:00～16:10）

(2) 食品安全マネジメント協会講演（16:10～17:50）

●監査会社・認証機関向け JFS 規格セミナー（16:10～17:25）

●質疑応答（17:25～17:50）

(3) 閉会（17:50～18:00）

【記録写真】 撮影JTB



(6) ASIAGAP 指導員養成のための研修 (第1回)

日時：令和3年12月22日(水)～24日(金)
場所：GAP 総合研究所内会議室 (テレビ会議形式)
言語：日本語・越語 (逐次通訳)

1. 概要

ASIAGAP 指導員の資格取得を目的とし3日間にわたって開催された。研修は今年度と来年度に2回にわたって実施される予定。両方の研修を受講し、試験に合格した者に ASIAGAP 指導員の資格が与えられる。

日本 GAP 協会の協力を得ながら、GAP 総合研究所が研修を実施。ベトナム国内からベトナム国立農業大学の職員や民間の審査会社に勤める社員等合計20名がオンラインで研修を受講した。研修は GAP の基礎を学ぶ講義から始まり、2日目、3日目には実践的な内容の講義を実施、グループワークも行われた。

研修開催後に試験を実施し、合格者には指導員カード・研修合格証が後日郵送にて渡された。

2. 実施プログラム

【1日目】

日本時間	ベトナム時間	内容
10:30-10:40	8:30-8:40	開講挨拶等
実践講座		
10:40-13:30	8:40-11:30	1.GAP の基礎とその必要性
		2.GAP 認証とは？
		3.GAP の導入について
		4.国内外の GAP を取り巻く状況
13:30-14:30	11:30-12:30	昼食・休憩
基準文書の解説		
14:30-18:00	12:30-16:00	1. 全体像
		2. 農場用 管理点と適合基準の理解
		1.農場の見える化
		2.経営者の責任
		3.計画及び実績評価
		11.責任者及び教育訓練
		23.種苗の管理
		24.農薬の管理

【2日目】

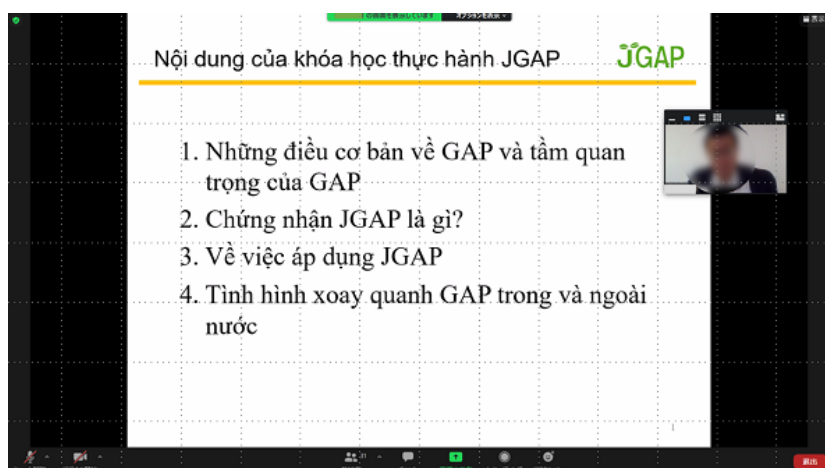
日本時間	ベトナム時間	内容
10:30-13:30	8:30-11:30	24.農薬の管理
		ワーク 農薬使用の記録・・・グループにて
		ワーク 農薬保管庫
13:30-14:30	11:30-12:30	昼食・休憩
14:30-18:00	12:30-16:00	24.5 農薬のドリフト、24.6 残留農薬に対する検証
		25.肥料等の管理
		リスク評価の導入部分
		ワーク 1-1 リスクへの気づき
		リスク評価の詳細説明
		ワーク 1-2 リスク評価表の作成・・・グループにて
		13.作業者及び入場者の衛生管理 写真使用

		17.施設の一般衛生管理 + 写真使用
		15.土の管理
		16.水の利用及び廃水管理

【3日目】

日本時間	ベトナム時間	内容
10:30-13:30	8:30-11:30	7.供給者の管理 8.商品管理、9.1 商品に関する苦情・異常への対応 9.2 農場のルール違反への対応 10.識別とトレーサビリティ 12.人権・福祉と労務管理 14.作業者の労働安全
13:30-14:30	11:30-12:30	昼食・休憩
14:30-17:00	12:30-15:00	18.機械・設備、運搬車両、収穫関連の容器・備品、包装資材、掃除道具、工具等の管理 写真使用 ワーク4 大根洗浄機 19.エネルギー等の管理、地球温暖化防止 20.廃棄物の管理及び資源の有効利用 21.周辺環境への配慮及び地域社会との共生 22.生物多様性への配慮 スプラウト専用項目 きのこと類専用項目 穀物専用 精米専用、麦専用 審査・認証について 指導員について
17:00-17:30	15:00-15:30	予備時間

【記録写真】撮影JTB



(7) 分科会（有機認証、GAP、FSM）

日時：令和4年1月14日（金）

10：00～12：00 有機認証分科会

13：00～15：00 GAP 分科会

15：30～17：30 FSM 分科会 （日本時間）

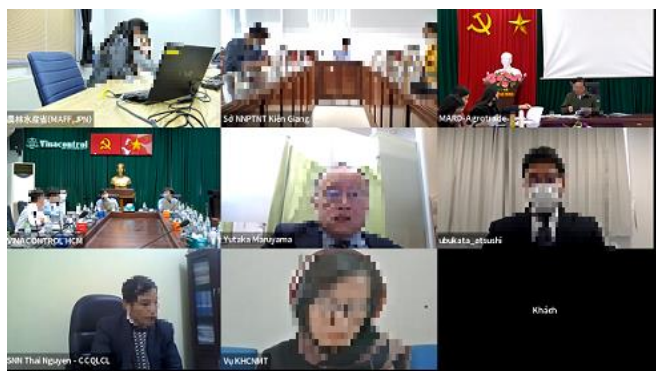
場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発省 会議室（テレビ会議形式）

言語：日本語・越語（逐次通訳）

1. 概要

各分科会において2021年度の活動報告とレビューが実施された後、次年度の活動計画について意見交換が実施された。特に2022年度は両国間の協力開始後5年目の節目の年度となることもあり、次年度も有意義な協力活動が実施できるよう、各分科会において両国間で積極的な議論が交わされた。

【記録写真】 撮影JTB



(8) ワーキンググループ

日時：令和4年1月17日（月） 15：00～17：20（日本時間）

場所：農林水産省 会議室 / ベトナム農業農村開発省 会議室（テレビ会議形式）

言語：日本語・越語（逐次通訳）

1. 概要

GAP、FSM、有機認証の3分科会で実施された2021年度の活動報告とレビュー及び2022年度の活動計画について報告が行われた。その後、2022年度の両国の協力の活動方針について確認が行われた。

【記録写真】 撮影JTB

